

こなん水辺公園ニュース

2010年6月号(通算第7号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

アサザが咲いています

ミニ植物園のアサザが咲いています。

昨年よりミニ植物園を整備し、河北潟に生育する希少植物やかつて自生していた希少植物のうち河北潟由来の株を保全しています。一度、人の手によって自然から引き離れた植物を再度自然に戻すのには注意が必要ですが、河北潟由来の植物を何らかの形で絶滅を回避する手段として、隔離による系統保存を行っています。このうちアサザは、河北潟では場所によっては群落が拡大してますが、西部承水路や福久など群落が消滅してしまった場所もあり、隔離による系統保全が必要と考えています。その他にも場所を変えて系統保存を行っています。



アサザ

5月23日にメンテナンス作業を行い、一部の鉢を日陰に移したことで、沈水植物のクロモヤ、昨年は生育がうまくいかなかったコパノヒルムシロも順調に育っています。トチカガミは、鉢からあふれ出さんばかりに繁茂しています。ミクリの花も咲きました。



ミニ植物園



トチカガミ



ミクリ

夏が近づいて

夏が近づき、オオヨシキリの声が騒々しいこなん水辺公園です。見慣れない黄色い花が目立ってきました。オオキンケイギクです。園内には今のところ少ないのですが、園に接する大宮川沿いの砂利道には、いつの間にか、群落となりはびこっています。

この植物は環境省の特定外来生物に指定されている植物です。北アメリカ(ミシガン~フロリダ、ニューメキシコ)原産のキク科の多年生草本で、高さは0.3~0.7m程度です。道ばたや、河川敷、線路際、海岸などに生育します。

特定外来生物とは、外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。

特定外来生物は、生きているものに限

られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。

特定外来生物に指定されたものについては以下の項目について規制されます。

飼育、栽培、保管及び運搬することが原則禁止されます。

野外へ放つ、植える及びまくことが禁止されます。

許可を受けて飼養等する者が、飼養等する許可を持っていない者に対して譲渡し、引渡しなどをすることが禁止されます。これには販売することも含まれます。

許可を受けて飼養等する場合、その個体等にマイクロチップを埋め込むなどの個体識別等の措置を講じる義務があります。

特定外来生物を野外に放ったり・植えたり・まいたりした場合、個人の場合、懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金に該当します。

(以上、環境省ホームページより)



大宮川沿いのオオキンケイギクの群落

6月の生きもの情報

6月の生きもの情報

- ツバメやヨシキリが水辺のヨシや
オギなどに飛来してきました。
- 池にカルガモやアサギの木の鳥
- ツグミやムクドリがよくみられました
- ミサジが池で魚をつかまえていました。
- 鮒(有鮒)がよく釣れています。
- フミカエル(9袋)がの息をはじめました。

2009年11月

三ツコ。園内の池でも魚をつかまえていました。

三ツ植物園

河北潟の池が絶滅の危機
ふたつに植物園が分断されています。

・アサギの黄色い花が
咲いています(6月5日)

つばみかたくとまっています。
さうすい花が咲きだしています。
5月30日に田植えが行われました。

ホタルも見られるようになります。

イサガの餌のりにきいのがうす
ダイサキもいます。

オギの穂

ヨシの穂

ムクドリ

観察地の池でよく見られる。
園内で遊んだら見られる。

カルガモ
くちばしの長い
藍色の羽が特徴

キジバト

発行 2010年6月30日
 制作 こなん水辺公園解説員グループ (NPO 法人河北潟湖沼研究所内)
 連絡先 〒金沢市二口町八58 河北潟湖沼研究所 TEL.076-261-6951